



昭和が遠くなくなった。平成が始まって四半世紀が経ち、昭和世代も少しずつ減っている。そんな中、昭和に生まれた家屋に人気が集まり、昭和のファッションが復活する。第二次世界大戦、戦後の混乱から高度経済成長期、バブル景気へ至る昭和の道りでは、戦後の復興を象徴するような新幹線の開通、東京オリンピックや大阪万博の開催などが今にも語り継がれる時代の標識ともなっている。

このような華やかなイベントの陰には、政治経済を中心とする昭和史に書かれることのない、文化、芸能、スポーツ、商売、生活などにおける多彩な活動が繰り広げられていたのだった。

本講座では、記憶と忘却のはざまにある昭和の風俗風物・風景を掘り起す。そこには関西の庶民たちの汗と息づかいと笑いがある。

コーディネーター

大阪大学 大学院 文学研究科 教授  
立命館大学 文学部 教授

和田 章男  
藤巻 正己

# 昭和の風俗・風物・風景

—忘れられた昭和史—

全8回

大阪・京都文化講座 後期

2016年度 立命館大阪ブロンズセミナー



第1回	作家が捉えた京阪の〈闇市〉	大阪大学 大学院 文学研究科 准教授 齋藤 理生	10月17日(月)	第5回	大阪のスポーツ少年団 —先駆地・豊中市の事例にみる歴史と課題—	大阪大学 大学院 文学研究科 教授 堤 研二	11月14日(月)
第2回	昭和初期関西の登山ブームと「旅行団」	立命館大学 産業社会学部 教授 赤井 正二	10月24日(月)	第6回	戦前期京都のモダニズム	立命館大学 文学部 教授 中川 成美	11月21日(月)
第3回	戦後大阪のサークル詩運動	大阪大学 大学院 文学研究科 准教授 宇野田 尚哉	10月31日(月)	第7回	踊る京阪神 —都市モダン文化のなかの音楽とダンス—	大阪大学 大学院 文学研究科 准教授 輪島 裕介	11月28日(月)
第4回	古写真から読み解く昭和京都の街と祭礼 ～失われた〈景〉の数々～	立命館大学 文学部 教授 加藤 政洋	11月7日(月)	第8回	芸能と観光の昭和史 —吉本にみる〈埋もれた昭和〉と〈創られた昭和〉—	立命館大学 文学部 教授 遠藤 英樹	12月5日(月)

**会場** 立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル5階)

**時間** 14:00~15:40 (90分の講演と10分の質疑応答)

**受講料** 1回 1,500円 (7回以上一括申込・振込の場合 10,000円)

**定員** 各回130名【先着順】※要事前申込  
定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。  
郵送でのお申込みの場合は、消印日での先着順とします。

**お問合せ・お申込み先**  
立命館大阪梅田キャンパス 公開講座事務局  
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階  
TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894  
メール:osaka-kz@st.ritsume.ac.jp (公開講座専用)  
※お電話でのお申込みはできません。お申込み方法は裏面をご覧ください。



第1回 10月17日(月) 大阪大学 大学院 文学研究科 准教授 齋藤 理生

### 作家が捉えた京阪の〈闇市〉

焼けた大阪。焼けなかった京都。敗戦直後、二つの都市は対照的な状況にあった。しかし、新しい時代の訪れによる急激な変化にさらされた点では同じであった。その変化と混乱のありようを、小説の中で〈闇市〉がどのように描かれたのかに着目することで確かめたい。

立命館大

明治末から始まる近代登山は昭和初期にブームの頂点に達する。関西各地でも多くの「旅行団」が結成され、「公休日」を利用して「日帰り」旅行をした。店主・店員・会社員など一般社会人が中心だった。こうした「旅行団」が現在のJTBの設立につながっていく。